

国道6号 ^{じょうばん}常磐バイパスが
3月30日（金）に全線4車線開通します
〈4車線化により円滑な交通の確保といわき市の産業活動を支援します〉

国土交通省磐城国道事務所が事業を進めてまいりました 国道6号常磐バイパス（延長27.7km）については、**平成30年3月30日（金）に全線4車線開通**する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

なお、開通に向けて通行方法を切り替えながらの施工となりますので、現地の通行案内に従い、安全に走行願います。

【期待される効果】

- ①4車線化による円滑な交通の確保
- ②東北1位の工業都市いわき市の産業活動を支援
- ③観光活性化を支援
- ④救急搬送活動を支援

1. 今回開通区間

いわき市 ^{なごそまちしさわ}勿来町四沢～同市 ^{にしきまちいかずち}錦町雷 延長 0.8km

※勿来バイパスとのすりつけ区間について、今後一部工事を行う箇所があります。

いわき市 ^{たいらしもあらかわ}平下荒川～同市 ^{たいらしもかべや}平下神谷 延長 6.0km

※開通後も残作業に伴い一部交通規制を行いますので、ご協力願います。

2. 開通日時

平成30年3月30日（金） 16:00（予定）

なお、供用予定日時は、天候等の影響により変更になる可能性があります。

[発表記者會等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課]

〈問い合わせ先〉

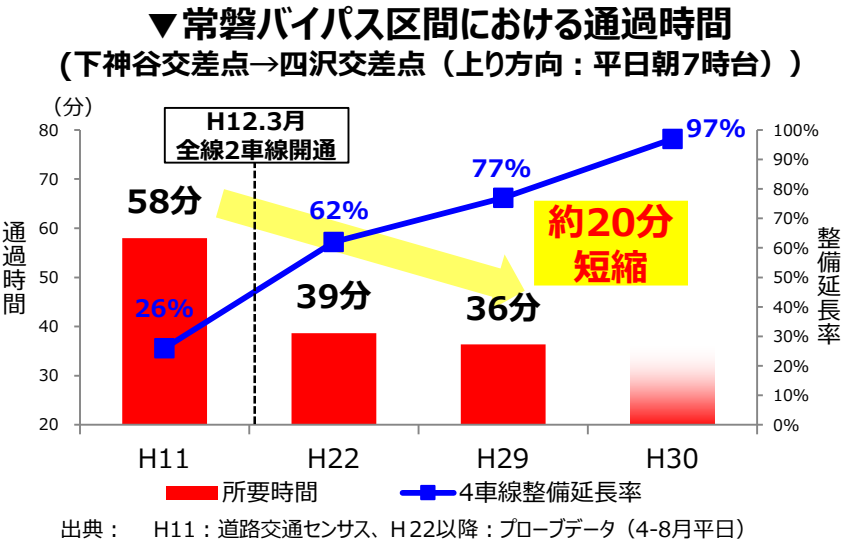
国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所
副 所 長 石 井 重 好
工 務 課 長 橋 本 幸 雄
TEL 0246-23-2211（代表）

今回開通区間位置図



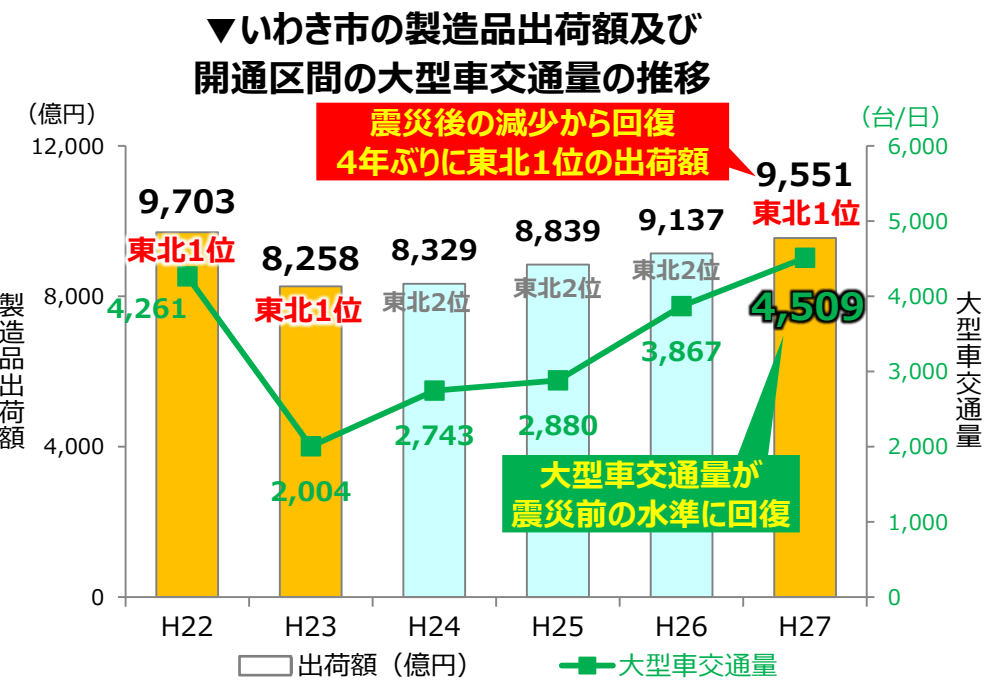
期待される効果① 4車線化による円滑な交通の確保

- ◆常磐バイパスの4車線化の整備により**主要渋滞箇所が2箇所解消**し、バイパスの通過時間は平成11年から約**20分の短縮**。
- ◆今回開通区間の4車線化によって**更なる時間短縮、混雑緩和**につながり、**円滑な交通の確保**が期待される。



期待される効果② 東北1位の工業都市いわき市の産業活動を支援

- ◆いわき市は、**製造品出荷額が東北1位**の年間9,551億円であり、東北有数の工業都市である。
- ◆東日本大震災以降の出荷の回復とともに、**製品輸送に常磐バイパスが利用されている。**
- ◆常磐バイパスの4車線化によって**製品の輸送が円滑化し、工業都市いわき市の産業活動を支援。**



出典：(大型車交通量) トラン交通量 (久世原) (各年10月平日平均)
(製造品出荷額) 工業統計 (H22~H26)、経済センサス-活動調査 (H27)

【いわき市内家具製造企業の声】

- ・いわき市内に複数の拠点が各拠点の生産物を順に集荷しています。
- ・常磐バイパスでの事故や混雑により、輸送トラックが遅れることがあります。
- ・常磐バイパスが4車線になることで、到着遅れのリスク減少が期待されます。

【いわき市運送業者の声】

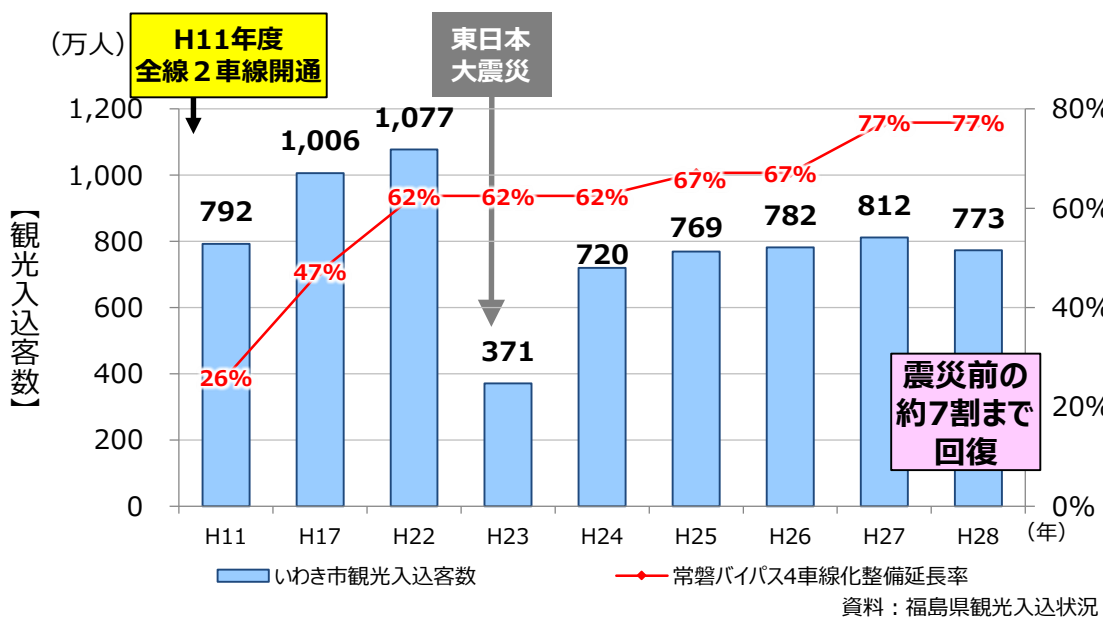
- ・原発事故被災地域では、復興工事が加速化し、工事に必要となるセメントの需要が急速に高まっています。
- ・4車線になることで、時間短縮、ドライバーの負担軽減が期待され、福島県の復興促進につながります。

**いわき市は
家具製造
セメント製造
東北1位の
出荷額**

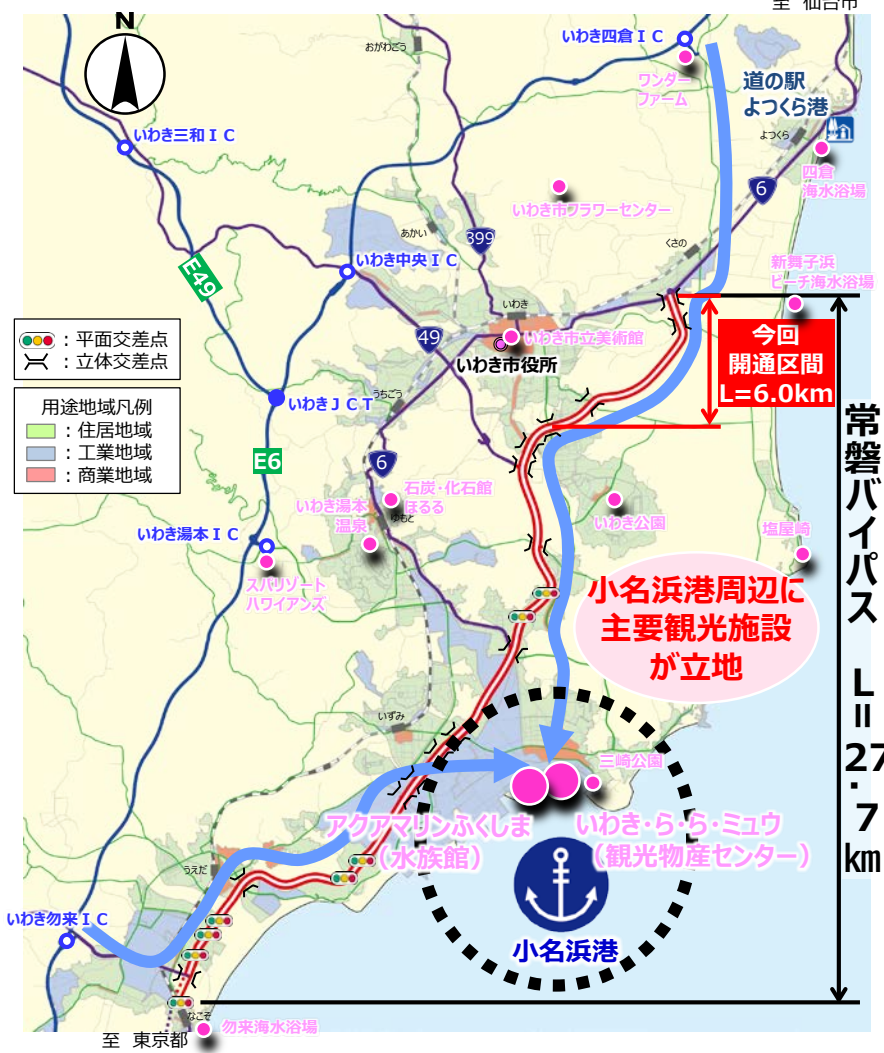
期待される効果③ 観光活性化を支援

- ◆ いわき市の観光入込客数は震災前の7割まで回復。
- ◆ 常磐バイパス4車線化等の整備により、**時間短縮・アクセス性が向上し、観光の活性化が期待される。**

▼いわき市観光入込客数の推移

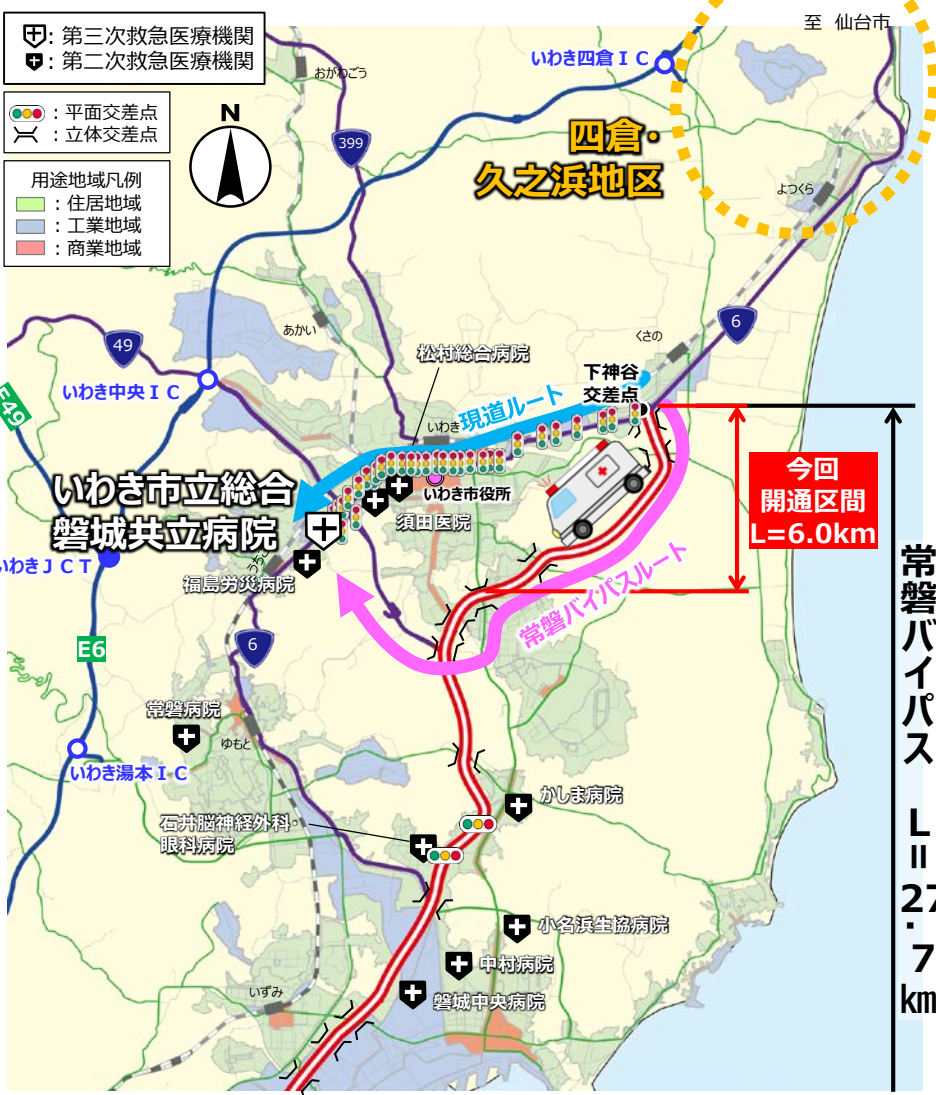


▼いわき市の主な観光施設の立地状況

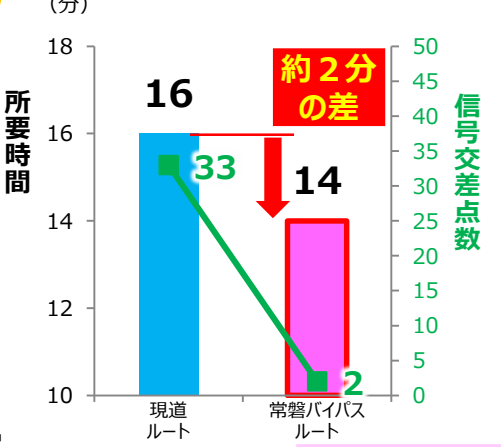


期待される効果④ 救急搬送活動を支援

- ◆ 救急医療機関が無い四倉地区・久之浜地区では、他地区の医療機関への搬送の際に常磐バイパスが利用される。
- ◆ 常磐バイパスの4車線化により、所要時間の短縮が期待されるとともに、緊急走行中の救急車のブレーキ回数が減少し、より安全で患者への負担の少ない救急搬送が可能となる。



▼ 下神谷交差点→磐城共立病院の
所要時間比較



出典：プローブデータ
 H29.10月平日
 ※7～19時の12時間の平均旅行速度を用いて算出

▼ 4車線化により可能となる
スムーズな救急搬送



<いわき市消防本部の声>

- ・四倉・久之浜地区には救急医療機関がなく、他の地区への搬送の際に、常磐バイパスを走行します。
- ・常磐バイパスの2車線の区間では、朝夕に混雑が発生し搬送の妨げになっています。また大型車も多く大型車等を追い越す際に危険を感じています。
- ・常磐バイパスの4車線化により、混雑が緩和し、ブレーキ回数が減少することで、より安全で患者への負担の少ない救急搬送が可能となることを期待しています。

